

西宮市デジタルライブラリー

阪神・淡路大震災

～震災の記憶 あの日を忘れないために～



2013年1月11日

西宮市 総務総括室 情報公開課

副主査 米田 実

情報公開課とは

- 情報公開チーム

情報公開制度及び個人情報保護制度
行政資料の収集・整理・保存及び利用

- 歴史資料チーム

西宮市史現代編の編集
市関係歴史資料の収集・整理・保存及び利用

- 統計チーム

基幹統計等調査及び統計書の発行

業務に関係した私的活動



- ・ 阪神・淡路大震災をテーマとした曲を創作し、合唱で震災を語り継ぐ活動を続けている。
(阪神・淡路大震災11曲 ・ 東日本大震災1曲)
- ・ 2002年4月～神戸市にオープンした「人と防災未来センター」語り部ボランティアを続ける。
- ・ 趣味の写真がデジタルカメラに変わり、パソコン上で編集などを行うようになった。

行政資料写真のデジタル化

◎ 2004年～2005年（約2600点）

概要

- ・ 昭和初期の写真もあり、劣化が進んでいた。
- ・ 分類・整理はなされてはいるが、貸出し等で行方不明の写真も多くある。
- ・ 点数が多く、事務室の有効活用の障害となっていた。

効果

- ・ 写真の劣化を止めることができた。
- ・ 貸出しはデータのみとなるので散逸の恐れは無くなった。
- ・ 市民閲覧用のパソコンに納めることができ、保管スペースが不要になった。
- ・ 検索・閲覧が容易にできるようになった。

震災写真の収集

◎ 2006年2月

震災写真デジタル化の始まり

- ・ 2月、道路部より震災写真を譲り受ける。
- ・ 阪神高速道路や山陽新幹線が崩落した当時の様子を語る貴重な写真であった。



◎ 2006年3月

各課に震災写真の提供を求める。

- ・ プリント・ネガ・スライドのいずれも対応できます。
- ・ 撮影場所・日付のわかる資料も提供ください。
- ・ お借りした資料はデジタル化終了後返却します。
- ・ 職員が私的に撮影された写真も提供をお願いします。

震災写真デジタル化作業1

◎ 2006年3月～同年11月（第一次）

各課写真のデジタル化

- ・ 保有数の多い広報課・消防局は、借受・返却を繰り返す。
- ・ 画質はマチマチであり、劣化の始まっている写真もあるため、画像補正が必要で、取込みを行ったデータは自宅に持帰り作業を進める。
- ・ 貸出しによる散逸写真も多く見受けられたが、広報課・消防局共にネガが保管されており、ほとんどが復元できた。

画像データの作成

- ・ 画像ファイル名だけでは検索できないので、Excelファイルのファイル番号に、町名および施設・地域名を入力していく。
- ・ 各課とも撮影場所を記載した資料は保管しておらず、記憶と住居表示板・店の看板等を頼りに、住宅地図と照合し入力した。

震災写真デジタル化作業2



◎ 2007年1月～8月（第二次）

埋もれた写真の発掘へ

- ・ 広報課のキャビネットで市民提供写真を発見
（提供を受けたが、活用されないままに眠っていた。）
- ・ 市庁舎の改修写真
（仮設庁舎に分散し、本庁舎の補修が行われた。）
- ・ 西宮震災記念碑公園の整備
（毎年追悼の行事が行われる記念碑及び公園の整備記録）

西宮市震災写真情報館開設に向けて1

◎ 2007年9月

震災写真の収集・保存はできたが

- ・ 多くの課からデータの提供を受けながら、担当課のみが保管しているだけでいいのか。
- ・ 12年が過ぎ、震災を経験した職員が年々減ってきている。震災の経験を伝えるため、このデータが活用できないか。
- ・ 担当者の代替わりは当然あるので、何時かは忘れられてしまう可能性がある。
- ・ 保存を確実にするためには、担当課のパソコンではなく、西宮市のサーバーに保存し、管理してもらう必要がある。

西宮市震災写真情報館開設に向けて2

◎ 2007年10月

情報システムのトップに相談するしかない。

- ・ 画像データから写真にリンクする簡単なデモファイルをDVDで作成し、見てもらうことにした。
- ・ 相談相手は、元上司で電子自治体推進担当理事の「吉田稔」氏で、阪神・淡路大震災時には「被災者支援システム」を開発し、全国の自治体に無償ソフトを広めている人である。
- ・ 話は心配するまでもなかった。
震災写真のホームページでの公開に向けてシステムの構築を指示していただくと同時に「西宮市震災写真情報館」の名づけ親ともなってくれた。

西宮市震災写真情報館開設に向けて3

◎ 2007年10月から12月

ホームページでの公開への問題点の整理

- ・ 公開について担当課及び提供市民の同意を取る。
- ・ 個人が特定できる顔の写ったもの
(写した職員も被災者。後ろ姿又は遠目のものがほとんど)
- ・ 表札及び店舗の看板等
(現在残っていても、プライバシーや営業を損なうものではないと判断)
- ・ 車のナンバー
(既に12年が経過しており、現在使われている車は皆無と判断した)
- ・ 公開に適さないもの
(消防局の写真に遺体と思われるものが写っていたので非公開とした)

震災写真情報館利用規約の作成

- ・ 閲覧を広めたいが、悪用される恐れも否定できないため、利用規約に同意した人のみの閲覧とし、右クリックによる取込は不可とした。

西宮市震災写真情報館開設に向けて4

◎ 2008年1月～3月

ホームページ公開に向けての最終点検

- ・ 庁内ネットで閲覧を可能にし、
画像の公開可否について各担当部署で点検をしてもらった。
- ・ 職員個人が撮影した追加希望の写真があれば受け付けた。
- ・ 位置情報の精度を高めるため、
町単位から街区単位に変更したが、詳細の設定は持ち越された。

◎ 2008年3月28日

「西宮市震災写真情報館」 オープン

充実した震災写真情報館へ1

◎ 新聞報道により存在が全国へ

- ・ 2008年4月4日、朝日新聞夕刊に掲載され、アクセス数が急激に増加。
(ネット配信の方が多いと思われ、昼頃から急に増え始めた)
- ・ 5000点あっても写真のない地域があり、空白を埋めるためその後の新聞取材には市民提供の呼びかけを依頼
(重複していない場所のみを選択するが、約500点の増加)
- ・ 口頭ではあるが、写真には提供者名を付けない著作権放棄の形で受け取った。
(自分の写真を役立ててもらおうと届けに来られるので、全員が快く応じてくれた)

充実した震災写真情報館へ2

◎ 写真データの修正

- 町名や街区番号の修正、検索に必要な文字データの追加等、編集画面で1枚1枚修正を加えていく。
- 街区まで特定されても、正確な写真位置とはならない。ここから先は地図へ直接入力が必要となる。

【管理番号:24】

写真名称 (写真番号)	<input type="text" value="0_01_024"/>
町名	<input type="text" value="広田町"/>
街区番号	<input type="text" value="13"/>
X座標	<input type="text" value="92794167"/>
Y座標	<input type="text" value="-138378167"/>
写真提供先	<input type="text" value="市民提供写真"/>
カテゴリ	<input type="text" value="阪神・淡路大震災被災状況写真 広田町"/>
検索文言	<input type="text" value="1995年1月24日 広田町倒壊家屋"/>
区分	<input type="text" value="1995年1月~3月"/>
カテゴリ1	<input type="text" value="建物の被災状況"/>
カテゴリ2	<input type="text" value="指定なし"/>
詳細1	<input type="text" value="木造建物(建物の被災状況)"/>
詳細2	<input type="text" value="指定なし"/>
公開制限	<input checked="" type="radio"/> 一般公開 <input type="radio"/> 庁内公開 <input type="radio"/> 非公開



充実した震災写真情報館へ3

◎ 写真検索の方法を検討

- ・ 町名分類までは出来ているので、欲しい写真の町名が分かればなんとか検索可能であるが、地理に詳しくない市外の方は時間をかけて探してもらうしかない。
- ・ そして、その町にたどり着けても、震災の発生直後から、復興するまでの多くの写真があり、検索に時間がかかる。
- ・ キーワード検索も可能ではあるが、すべての写真に文字情報はないので検索できない場合もある。
- ・ 結果として、全国発信はしたものの、必要とする写真にたどり着いてもらえず、非常に不親切な状態になっているのが分かった。

充実した震災写真情報館へ4

◎ カテゴリー分類の検討

検索の目的に沿った分類から入ることが望ましい。

- ・ 被害の状況
検索者はまず被害の状況を確認することから入るのではないか。
- ・ 災害応急対策
次にその被害に対してどのような対応を行ったか。
- ・ 復旧・復興事業
その後、復旧・復興に向けてどんな動きをしたのか。

「区分」を別途設定

上記の3分類とは別に撮影時期・西宮市が発行した「復興に向けて」の使用写真・その他の紙記録等を「区分」とした分類も加えた。

カテゴリーの分類 被害の状況



101	建物の被災状況	101A	木造建物						
		101B	非木造建物						
102	市街地の被災状況	102A	一般市街地			110	110A	西宮中央商店街	
		102B	高所遠望写真				110B	北口本通り商店街	
103	地すべり被害の状況						110C	甲子園口商店街	
104	液状化・地割れ等土地の被災状況						110D	甲東園周辺商業施設	
105	道路・橋梁の被災状況	105A	阪神高速道路甲子園付近				110E	その他商業施設	
		105B	阪神高速道路本町付近				111	市庁舎の被災状況	
		105C	阪神高速道路夙川付近				112	学校施設の被災状況	
		105D	阪神高速道路湾岸線				113	消防施設の被災状況	
		105E	名神高速道路				114	福祉施設の被災状況	
		105F	国道171号線門戸陸橋				115	公園の被災状況	
		105G	一般道路				116	その他公共施設の被災状況	
106	鉄道の被災状況	106A	山陽新幹線			117	117A	西宮神社	
		106B	阪急神戸線				117B	広田神社	
		106C	その他鉄道				117C	その他神社仏閣	
107	河川・水路の被災状況								
108	ライフラインの被災状況							118	墓地の被災状況
109	港湾施設等の被災状況							119	文化財・文化施設の被災状況
				120	ニテコ池周辺の被災状況				

カテゴリーの分類 災害応急対策

201	市の災害対策		
202	救出・救助・捜索活動	202A	仁川地すべり現場
		202B	甲子園ロビル
		202C	その他 救出・救助・捜索活動
203	遺体の収容		
204	消火活動		
205	自衛隊の活動		
206	市外からの支援		
207	救援物資の受入・配布		
208	応急給水の状況		
209	避難所・避難者の状況		
210	仮設浴場等の状況		
211	ライフラインの応急復旧		
212	道路交通の状況		
213	家屋被害調査		
214	地震直後の社会生活		
215	ボランティア活動		
216	倒壊家屋等の解体・除去		
217	災害廃棄物の処理		
218	応急仮設住宅の状況		
219	仮設校舎の状況		



220	仮設庁舎の状況	220A	六湛寺町10番
		220B	六湛寺町10番
		220C	和上町
221	ふれあいセンター		
222	保健医療活動		
223	震災復興相談会		
224	訪問・視察等		
225	慰霊祭	225A	兵庫県南部地震合同慰霊祭
		225B	その他慰霊祭

カテゴリーの分類 復旧・復興事業



301	道路・橋梁の復旧	301A	阪神高速道路甲子園付近	312	神社仏閣の修復	312A	西宮神社
		301B	阪神高速道路本町付近			312B	その他神社仏閣
		301C	阪神高速道路夙川付近			313	文化財・文化施設の復旧
		301D	阪神高速道路湾岸線				
		301E	名神高速道路				
		301F	国道171号線門戸陸橋				
		301G	一般道路				
302	鉄道の復旧	302A	山陽新幹線	314	その他施設等の復旧		
		302B	阪急神戸線	315	応急仮設住宅の撤去		
		302C	その他鉄道	316	仮設庁舎の撤去		
303	河川・水路の復旧		317	ニテコ池の復旧			
304	ライフラインの復旧		318	西宮震災記念碑公園の整備	318A	西宮震災記念碑公園周辺	
305	宅地等敷地の整備				318B	記念碑製作過程	
306	未整備地等				318C	広報誌	
307	住宅の建設・復旧		319	地すべり地復旧工事			
308	市街地の復旧状況		320	震災復興再開発事業			
309	市庁舎の復旧		321	防災・避難訓練			
310	学校施設の復旧		322	犠牲者追悼行事			
311	店舗等商業施設の復興		311A	西宮中央商店街	323	復興イベント	
			311B	北口本通り商店街	324	「復興に向けて」使用写真	324A
		311C	甲子園口商店街	324B			復興に向けてⅡ
		311D	甲東園周辺商業施設	324C			復興に向けてⅢ
		311E	その他商業施設	325	その他紙記録		

充実した震災写真情報館へ5



◎ 仮設住宅の写真が余りに少ない

- ・ 100カ所を超す場所に建設され、復興の過程で大きな役割を果たした仮設住宅であるが、限られた場所の写真しか入手できていない。
- ・ 業務を引き継いでいるはずの部署に問い合わせるが、写真は残っていないとのことであった。
- ・ 仮設住宅を写した写真は残っていないが、税務部の写した航空写真は残っている。
- ・ 仮設住宅のあった証しとして、屋根が確認できるだけであるが、すべての仮設住宅を取り込むことができた。
- ・ 近くに仮設校舎も確認できるので、仮設校舎も取り込む。

◎ 仮設住宅での生活

- ・ 歴史資料チームに、仮設住宅に暮らした思い出をまとめた2冊のアルバムが寄贈されており、仮設住宅での生活状況を伝える資料の一つとして、市民提供の写真に加えた。

デジタルライブラリーへ

◎ 2010年1月、震災関連情報の集結

充実した震災写真情報館を目指して動いていたのは我が課のみではなかった。西宮市ホームページを管理・運営する情報政策課が、それぞれの担当が運営していた震災関連情報を集結させてくれたのが「西宮市デジタルライブラリー」である。

- 震災写真情報館
- 震災関連図書・資料
- 震災動画ライブラリー
- 震災関連地図等
- 被災者支援システム
- 関連情報リンク



終わりに

- 震災直後は日々の対応に追われ、記録を残すことを考える余裕は私たちにはありませんでした。
- それでも、災害の記録を残すことは、次の災害への備えにつながるのではないのでしょうか。
- ただし、記録は残すだけでは意味がありません。災害はいつどこで起こるかわからないのです。利用して、初めて記録の意味が生まれるのです。
- 私たちは、十分ではありませんが阪神・淡路の経験を発信してきました。今度は東日本の方々が記録を残し、経験を伝えていただく番です。復興の過程を残せる機会はこれからです。